

令和4年第3回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	令和4年4月27日（水曜日） 午後1時46分から4時10分まで
会議開催の場所	市役所501会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・山川治美・島村由起男・新堀陽子・芳澤佐織
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 国分央・教育部参事 長嶋伸一・教育総務課長 野口重昭・学校教育課長 利根川典正・学校教育課副参事 下ノ坊圭・生涯学習課長 中條智則
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 大河原夏樹
傍聴者数	0人
会議資料の名称	会議次第、教育長報告、議案第20、21号、報告第2号、配布資料一覧

議題及び決定事項等

- 議案第20号 日高市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
原案どおり可決
- 議案第21号 日高市就学支援委員会委員の委嘱について
原案どおり可決
- 報告第2号 専決処理について
原案どおり承認

会議の経過

1) 前回会議録の承認事項

令和3年度日高市立小・中学校学校評価への委員からの意見を追加した。

2) 教育長報告の要旨

○校長会議、教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。

○その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。

3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨

【教育長報告関連】

(委員) 市内の小学校について、児童数の減少によってクラス数も減少しているが、1クラスの人数に学校ごとにばらつきがある。

(教育長) 40 人学級の場合は 41 人になると 2 クラスとなる。クラス数の少ない学校ほど差が顕著に表れる。

(委員) 20 人前半と 30 人後半のクラスでは、教員に対する負担が違う。また、教育を受ける側も不平等となる。教育委員会としても何か対策を考えたほうが良いのではないか。

(教育長) 一部の学校で少人数指導を実施しているが、全てで実施はできていない。また、国や県では小学校低学年から段階的に 35 人学級を進めている。

(委員) 特別支援教育補助員が増員となっているが理由はなにか。

(学校教育課長) 1 人当たりの勤務時間が短くなったことによる増員である。

(委員) 校長会議補足資料について、教育長の考えを校長へ伝えるものなので、もう少し具体的に表現したほうが良いと思う。

(教育長) 教育には 2 つの柱が大切である。一つは、個人として生きていける力をつけること、もう一つは社会に貢献できる力をつけることである。それは国でも、県でも市のレベルにおいても同じ考えであることを資料に記載している。

(委員) 今年 of 就職活動の状況を見ると、リモートを積極的に取り入れる企業が増えている。これからは個の時代でどういった人材が求められているのか、変化の激しい時代に求められるものをもう少し具体的に記載しないと伝わらないと思う。

(教育長) これから時代は大きく変わっていく。令和の日本型学校教育についても記載していきたい。

(委員) これからは通知票を使った絶対評価で子どもが成長する時代ではなくなってくると思う。頑張ったところを褒めて伸ばさなければ、今の子どもたちはついてこない。叱って育つ世代ではない。大変ではあるが、伸び率を評価できるシステムなどを構築することが大切であると思う。

(委員) 教職員の指導力の向上について、教える立場の教員の目線になっており、教わる側の教員の意思が尊重されていないと感じる。若い教員が意見を言える環境づくりが大切である。今まで通りのやり方では通用しなくなる。常に変えていかなければならない。

(委員) 教頭の仕事について、渉外の仕事が多いように感じる。それを教員が見て管理職になりたいと思うものなのか。

(学校教育課長) 教員と違って外部の様々な方と接することができ、学校運営にも携わることができやりがいはある。

(委員) 教頭が来客者を外で待っている学校がある。こういった文化に疑問を感じる。

(学校教育課長) そういったことや湯茶接待、ネームプレートの作成など、負担軽減の観点から、見直すよう働きかけている。

(委員) 仕事を根本的に見直し改善していかなければならない。教員の本旨は充実させ、余計なことは省いていくことが大切である。組織として校長、教頭の能力にかかっていると思う。

(委員) 学校における働き方改革基本方針において、時間外勤務を月 45 時間以内という目標を掲げているが、非常に大変なことと感じる。

(教育長) 県としてもまずは、月 80 時間を超過している職員の改善に取り組んでいる。勤務時間前活動の見直し等を行っているところである。

- (委員) 教員は職員室でパソコンを用いて仕事をしていると思うが、その校務用パソコンを教室などで操作することはできないのか。
- (学校教育課長) 現在の校務支援システムはセキュリティの観点から職員室でしか使用できないが、ここで国のセキュリティポリシーが見直されており、持ち出して使用できないか検討を始めたところである。例えば、出欠の入力についても、クラスで出欠を取ったものを職員室で入力するなどといった2度手間となっているので、今後改善していきたい。
- (学校教育課副参事) 国の指導で、校務システムと子どもたちの学習用端末とは分離しなければならなかった。しかし、コロナ禍となったことにより、クラウド化のニーズが高まり、今まさに改善を検討しているところである。
- (委員) 各学校をまわって、コロナの対策状況を見てみると、概ね対策はとれているが、換気が徹底できていないところも見受けられた。これからウィズコロナで教育活動を緩和していくためには、コロナ対策を徹底することが条件となる。マスクの脱着についても風の流れや向きを考えるなど工夫して行ってもらいたい。最近子どもに対するコロナワクチンの副作用のデータがそろってきたが、副作用の症例は少ない傾向である。しかし、ウイルスに感染した後遺症として川崎病のような症状の報告があがってきている。
- (委員) 教員に欠員は生じていないか。
- (学校教育課長) 初任者の研修参加中の代員に1人、育児短時間勤務の代員に1人の不足があったが、校内でやりくりしている状況である。基本的な定数の中での欠員はない。
- (委員) 本採用教員と臨時的任用教員の状況はどうなっているか。
- (学校教育課長) 小学校の定数144人の内、本採用教員が125人、臨時的任用教員が19人である。中学校は109人の内、本採用教員が93人、臨時的任用教員16人である。傾向としては、特別支援学級の増加によって、本採用教員をそちらの指導に充て、臨時的任用教員を採用したりしている。全体のバランスを考えて配置している。
- (委員) 新採用教員の様子はいかがか。
- (学校教育課長) 各学校を指導訪問しているが、現在のところ心身の不調の報告や相談はない。本年度は12人採用したが、順調なスタートが切れている。
- (委員) 課題はいかがか。
- (学校教育課長) 学校によっては時間外勤務が常態化している。教育委員会としても改革のサポートをしていきたい。
- (委員) 時間外勤務を少しずつ減らしていくというのは違うと思う。構造上の問題なのか、風土なのか、特殊な仕事はその学校にだけにあるのか。原因を探ること大切である。
- (学校教育課長) 教育委員会として具体的な改善策を示していきたいと思う。
- (委員) 中学校海外留学疑似体験事業について、部活動との兼ね合いもあるので、早めの準備をお願いしたい。
- (委員) 高麗川小・中学校のプール授業における市民プール利用について、学校内の施設ではないため、行き帰りの人数点呼と安全管理の徹底をお願いしたい。

- (委員) 校長会議補助資料について、子どもたちに「学ぶことの喜び、面白みを味わせる」とある。保護者だけでは難しいところもあるので、教員にはそういった指導をしてもらいたい。
- (委員) 日高塾について、今年度は小学校3年生に焦点をあてるとあるが、どういった狙いがあるのか。
- (学校教育課副参事) 学力調査を分析すると、日高市は平均を下回っているが、伸びの傾きは平行して伸びている。小学校3年生のスタートの遅れに着目した。
- (委員) 不登校の対応について、中学生は多感な時期である。きめ細かい対応をお願いしたい。
- (委員) 部活動方針について、「子どもたちが主役であり、教師は指導管理よりも支援という立場」とある。様々教員が担当すると思うが、生徒のやる気を削ぐことのないよう、生徒の提案を大切にしてもらいたい。
- (教育長) 生徒からの提案に対しは褒めるべきであり、これからの時代はそういった主体性を身に付けることが大切である。
- (委員) 地域部活動化の推進で外部指導者の活用を検討していると思うが、普段から生徒を見ている教員が部活動を担当するメリットもあるので、そういった事も加味して検討を進めてもらいたい。
- (委員) 保護者は教員や学校をよく見ている。見られているという感覚を忘れずに教育活動を進めてもらいたい。
- (委員) 職員室外で校務用パソコンを使用することについて、学校には保護者も出入りするので、個人情報などのセキュリティ対策はしっかり行ってもらいたい。
- (委員) 働き方改革を推進していくことは良いことだと思うが、電話で話したいことがあっても、日中は授業、放課後は部活動、時間を過ぎると電話が繋がらなくなってしまう。共働きで日中フルタイムで仕事をしている人もいる。何か良い方法があればと思う。
- (委員) コロナ禍前は、PTA活動や懇親会などで教員と保護者が人として接する機会があったが、今はそれができないため、誤認されるケースが出て軋轢につながってしまう。
- (委員) 不登校の対応について、学校に行かない理由を聞いてはいけない。子どもを尊重してあげてほしい。何かの原因が心の中にあるはずである。
- (委員) 女性管理職登用の推進には賛成である。教員の男女比に対して管理職は男性が多い。市役所もそうである。女性目線で改革できることもある。女性の意識の問題もあるが、新規採用のときから気持ち変えてもらうことも大切だと思う。
- (教育長) 学校からも積極的に声を掛けるように指導していきたい。
- (委員) 学校訪問おはなし会について、高麗川小学校で開催とあるが、他校では実施しないのか。よい事業なので積極的に実施してほしい。
- (生涯学習課長) コロナ禍で中止等もあったが、順番で各校をまわっている。
- (委員) 令和3年度の高校入試の問題を見たが、かなりレベルが上がっているように感じた。共通テスト化している気がする。まだ入試問題を確認していない教員がいたのに驚かされたが、教員が危機感を共有して教育につなげていかなければならない。平均点が出たら教えてほしい。

(学校教育課長) 入試問題からどういった知識が必要かを分析、共有して早い段階から教育していかなければならない。

4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

議案第20号21号、報告第2号 【非公開のため記載せず】

5) その他

(1) 次回定例会の日程等について

- 5月定例会：5月25日（水曜日）午後1時40分から 委員了承
- 6月定例会：6月24日（金曜日）午後1時40分から 委員了承